

平成27年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰受賞団体

センスオブアース・市民による自然共生パンゲア からのお知らせ



明るく分かりやすく話しかける松田由己氏

第8回 講演と「みそ造り講座」

手作り・無添加・板橋産大豆を入れて

11月26日◎主催:センスオブアース
支援:エコポリスセンター

「大豆100粒運動と みそ・とうふ作り」

講演◎松田由己氏
—日本豆腐マイスター—

年末、恒例となった、みそ造り講座。毎年体験の前に座学をしてから、体験講座を行っています。今年は、豆腐マイスター協会のマイスター松田さん。大豆 100 粒運動をする北海道の真狩高校のお話（ちなみに 100 粒とは幼児の両手に乗る量とか）や、国産大豆の栄養価が高く甘いこと、豆腐を絞ったおからは90%廃棄物で捨てられていること、このおからを使ったみそ造りを始めたこと、安いとうふはアメリカ産の大豆が多いこと、スー



熱心にメモをとる講演受講者



いたばし産大豆収穫



パーで買う人が増えて豆腐屋さんでどんどんつぶれているので、にがりを使った安心な豆腐をボールを持って買いに行くようになってほしいので、豆腐マイスターを普及しているとのこと。中国・韓国・ベトナムにも広がっているようで、今回の

講座で、マイスター希望者が現れたようです。～さて、みそ造りは、小学生も含む熱心で若々しい男女の参加者の熱気で、1時間もしないうちに、40キロのみそを仕込み、昨年仕込んだみそで作った味噌汁を試食しました。「おいしい～」との感想をいただきました。次ページへ



映画「天に栄える村」◎チケット販売中◎SOEまで 03-3960-6052

2017年3月11日(土)◎板橋区立グリーンホール2階ホール

主催: 3.11から未来をひらく会◎協力: エコポリスセンター

◎3.11から未来をひらく会◎板橋母親大会連絡会・いたばし野鳥クラブ・いたばし水とみどりの会・NPOいた・エコ・ネット・NPOセンスオブアース・グループケヤキ・東京土建板橋支部・個人

日本一おいしい米を作ってきた天栄村に、あの日、3.11に空から全ての田んぼに、放射性物質が降り注いだ。村人は渾身の力を出し合って闘いに挑んだ一感動の記録



4～5歳児で、「コウモリとが」の追いかっこ



自分たちで絵を描いた「風の子フーのなみだ」を読む
東京家政大生



「紙トンボを一斉に
飛ばすよ〜」

《子どもたちの楽しそうな声》

- ★風車を作るとき、ビーズを止めるのが楽しかった。
- ★風車が良く回った。 ★折ったり、ビーズをつけたり作るとき楽しかった。 ★教えてもらって楽しかった。

—先生方の投げかけ—

「牛乳パック、身近なもので作れるんだね。」(三井園長先生)
「風車1枚1枚折ってできたとき、うれしかったですよ。」
「自分で作ったもので遊べるのが良かったね。」

《先生方のふりかえり》

◎身の回りにある材料で、面白いおもちゃが作れるという楽しみを味わうことができました。そして風という自然の力でこんなに遊ぶことができるので、これからもその力に関心を持ちながら、保育活動を楽しんでいきたい。太陽の光や土の力、植物の力にも興味を持たせてあげたい。
◎少し練習しないとうまく飛ばせないのが楽しかったようだ。またやりたいという声が多いので外でやります。◎紙コプターをこうやって飛ばすんだよと見せ合ったりしていた。◎毎年何気なく見ている鯉のぼりやタコが、かぜを利用してしているものだと改めて気づくことができたり、風車のことを知ることができた。



3歳児が紙とんぼを飛ばしています

シャキシャキと動き、あっという間に味噌ボールに仕上げ



おいしいみそ汁の仕上げ

今年は特に男性の参加も3人で、にぎやか



《みなさんの感想》☺「私も近所のお豆腐屋さんにいつてみよう。」

☺捨てられているおからを有効利用したみそ造りの開発。☺大豆を通じて日本の大豆の自給率の現状（5%）や豆腐の成分など大変わかりやすく理解できた。これからは自分で選ぶ目を持ち、個人レベルでもできる事を取り入れていきたい。☺何でも作るということは楽しい！☺食糧問題を考えさせられた。☺味噌の原料は割と単純なものできているんだな。☺都会では手作りは難しいが、できる事をやろうと思った。☺この機会に自分御みそを作りたいと思った。子ども・孫に食べさせたい。☺家庭科の授業みたいでした。☺味噌造りは思ったより楽だった。☺大豆を足で踏んだ時ふかふかして気持ちよかった。☺作り方が習えたので、ぜひこれからは作りたい。（多数）☺塩分の量が多いことを知った。（今回の場合は17%）☺足踏みで大豆をつぶすとはすごいことだ。☺配合の難しさと楽しさがわかった。☺地味な毎日の献立の提案をしてほしい。

《みなさんに聞きました～これから体験したいこと》

☺醤油やラッキョウ漬、発酵食品などを作りたい ☺日本の和食（だし）を勉強したい
☺ヨーグルトの作り方 ☺納豆 ☺大豆作り ☺おからみそ ☺無農薬野菜

板橋区立高島幼稚園のお庭にワタの花と実がついて「花がさいているよ！」



取材◎10月16日

7月の夏休み直前、プランターに苗を植えて届けた「ワタ」が、10月に花をつけるほど成長しました。(NPO 法人いた・エコ・ネット提供。元の種は、福島県広野市で災害復興で育てられた、塩害に強いと言われるワタの種です。)

子どもたちが、毎日水やり、観察をし、綿について学ぶ中で、たくさんの気づきがありました。

☆「花が咲いているよ」 ☆「先生より大きい。」

☆「種がないとふわふわ。」 ☆「枕みたい。」 ☆「この洋服も綿？」 収穫したワタをさわって「綿って洋服になるんだってね。」 ☆「種があるとフワフワじゃないんだね。」

☆「種って白いんだね。」 ☆「私も取ってみたい。」 ☆「破かないと取れないよ。」 ☆「その種、綿がまだたくさんついているよ。」 ☆園庭で～「綿あったよ。とっていい？」 (高島幼稚園 5歳児担任、萩原先生が採取したエピソードより引用)



育ったワタの話を聞く子どもたち

《平成28年度板橋区立幼稚園◎教育研究会開催》11月28日

研究テーマー「身近な自然に気づき、自分からかかわろうとする幼児を育てる。」

講師 センスオブアース 寺田

子どもたちに自然へのたくさんの気づきを与えたいと、日頃の指導の中で、子どもの自然へ反応する姿や、先生方の声かけや、場面設定に心を砕いている記録が発表されました。自然への気づきを豊かにする事例研究です。

例示「カブト虫のトム君」「チョウの卵を見つけて」「同じ植物なのにふしぎ」「カブトムシが動かない」「ナメクジを見つけたよ」「クモの巣にシャボン玉」「ザリガニつり」「モルモットとのかかわり」「ダンゴムシの卵」「トンボをおいかけて」「きのこに興味を持った事例」「カブトムシって何食べる?」「野鳥の群れを見つけた」「チョウの幼虫を見つけて」—この中で、教師が

自然案内人になることの大切さや、場の設定、共感する大切さ、自然環境整備～虫や鳥を呼ぶにはどんな植物や樹木があるといいのか、などについて話し合いました。

熱心に研究する先生方



発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp